

クリエイティブワークの見積り事例調査結果 ～印刷関連サービス積算体系検討委員会の活動報告～

一般財団法人経済調査会 調査研究部 第二調査研究室

1. はじめに

経済調査会（以下、当会）では、情報伝達の目的・戦略の策定に当たる「広報活動などにおける課題解決のためのコミュニケーション戦略活動」を“クリエイティブワーク”と呼び、そのワークフローや専門職の担当領域、積算の考え方などについて体系的な整備を行い、受発注者間の合意形成に活用していただくことを目的として、2014年11月に「印刷関連サービス積算体系検討委員会」（以下、当委員会）を発足しました（出席者図表1）。

当委員会では、印刷業者やクリエイティブの専門業者、コンサルタントなどの有識者とともに議論を重ね、関連する調査を実施し、クリエイティブワークに関わるワークフローや積算方法などの把握に努めています。

本稿では、前号（2023年版）に続き、2023年に実施した「クリエイティブワークに関する調査」の調査項目である見積り事例調査の結果を紹介します。なお、調査内容については、当委員会で議論し設計しました。

図表1 当委員会の委員および出席者（順不同・敬称略）

| 出席者名 | 所属 |
|-------|----------------------|
| 瀬田 章弘 | 全日本印刷工業組合連合会 |
| 山本 久喜 | 全日本印刷工業組合連合会 |
| 鈴木 伸一 | （一社）日本グラフィックサービス工業会 |
| 藤井 建人 | （公社）日本印刷技術協会 |
| 宮本 泰夫 | （株）バリューマシーンインターナショナル |
| 森脇 卓 | クリエイティブ・ディレクター |
| 益子 貴寛 | （株）サイバーガーデン |
| 青柿 良和 | 全日本印刷工業組合連合会 |
| 事務局 | （一財）経済調査会 |

2. 2023年 クリエイティブワーク見積り事例調査の概要

2023年に実施した「クリエイティブワーク見積り事例調査」の概要は以下のとおりです。

- 調査時期 2023年8～9月
- 調査方法 郵送による書面調査
- 調査目的 クリエイティブワークの見積りで使用される料金項目や料金水準を把握するため
- 調査対象 クリエイティブ企業（主に広告宣伝やプロモーションに関わるメディアの編集デザインを主業務とする企業）224社
印刷企業（主に印刷物の編集デザインおよび製造を主業務とする企業）678社
※印刷企業については「印刷市況・見積りに関する調査」に同封する形式で実施
- 調査内容 プロジェクト案件の業務仕様（図表2）を提示し回答欄に見積り内容・金額を記載してもらう

3. 2023年 クリエイティブワーク見積り事例調査結果

(1) 回収数

2023年のクリエイティブワーク見積り事例調査の回収数は、クリエイティブ企業が11社（回収率4.9%）、印刷企業が44社（回収率6.5%）でした。当会では、今後の回収率向上を目指し、調査対象の選定や調査方法など、改善点を検討していく所存です。

図表2 見積り事例調査で使用了業務仕様

| 項目 | | 内容 |
|--------------------|---------------|---|
| 1.依頼主 | 社名 | クリエイティブ自動車用品株式会社 |
| | 弊社概要 | ・事業内容：カーケア&ドライブ用品の製造・販売 ・売上高：100億円，取扱店：国内カー用品店・ホームセンター等 約1,000店舗 |
| 2.業務名 | | ・イベント「エクスプローラーX/debut in Japan 2024」用ツール一式の企画デザイン業務委託 ※印刷業務は含みません |
| 3.目的 | | ・脱コロナ禍社会における行楽ドライブ活性化が見込まれる中，本年は「車中泊」需要にターゲットした用品ブランド「エクスプローラーXシリーズ」を新展開するため，イベント開催により，業界内での認知度向上と取扱店拡大，売場スペース確保を図ります |
| 4.主要ターゲット | | ・お取引先様各社のVIPおよび営業担当者，ジャーナリスト，インフルエンサー |
| 5.イベント概要 | 基本情報 | ・イベント名称：「エクスプローラーX/debut in Japan 2024」 ・開催期間：2024年〇月〇日から〇日間 |
| | 展示会内容 | ・「エクスプローラーXシリーズ（全10種）」の展示・体験デモ・サンプル品無料頒布 |
| 6.デザインアイテム | ①共通シンボル | ・デザインアイテム②～④で共通に使用するキャッチフレーズ，シンボルビジュアル，イベントロゴをご提案ください |
| | ②招待パンフレット | ・A4三つ折り/裏表6ページ/4色（招待券兼用） ※会場アクセス図，会場フロア図を必ず掲載，印刷予定数量は500部程度 |
| | ③ポスター | ・B1縦/片面/4色（会場および弊社関連施設・契約店舗掲出用） ※会場アクセス図，会場フロア図を必ず掲載，印刷予定数量は100部程度 |
| | ④Webランディングページ | ・ランディングページデザイン ※「弊社オフィシャルWebサイト」に掲載する当該イベント告知ページをご提案ください ※コーディング等は弊社情報システム部門で行います |
| | 注意事項 | ・デザインアイテム②～④に使用する，弊社の社名ロゴマーク，ブランドや製品のロゴマーク，製品写真等はデータにて支給します |
| 7.表現要件 | | ・「エクスプローラーXシリーズ」の先進性，優位性，躍動感を訴求してください ・競合他社との差異を明確にアピールしてください ・②～④については一貫した統一イメージを重視した表現としてください |
| 8.スケジュール | | ・業務期間（予定）：契約日2023年〇月〇日～デザインアイテム納品日までの約2.5ヶ月 ・デザインアイテム納品日（予定）：2023年〇月〇日まで ・デザインアイテム配布/掲出開始（予定）：2024年〇月〇日～イベント終了日 |
| 9.成果品 | | ・デザインアイテム①～④のDTPデータ（ai，indd等/Linkファイル一式/入稿仕様書） ・納品先：弊社指定ストレージ宛一括アップロード |
| 10.提出書類（プレゼンテーション） | | ・提出案はデザインアイテム①～④を1案として企画書にまとめてください (1) 企画書（趣意・詳細説明・スケジュール・企画デザイン体制） (2) カンプリヘンシブ（原寸各1部） (3) 見積書（デザインアイテム①～④それぞれの見積額をご提示ください） |
| 11.その他 | | ・契約や企画デザインの著作権等，法務については所定の手続きをお願いいたします ・上記記載以外の成果品の二次利用はありません（必要が生じた場合は別途とします） ・プレゼンテーションに関わる諸費用は本件に含まれますので，ご了承ください |

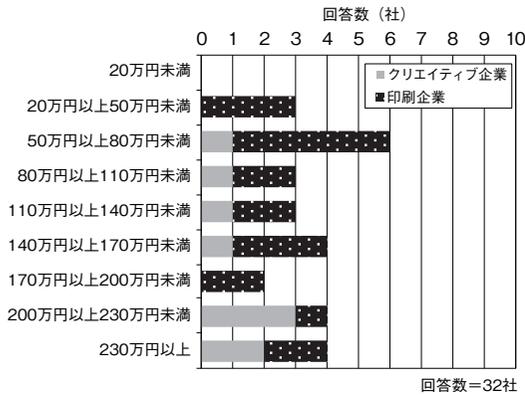
(2) 調査結果

2023年のクリエイティブワーク見積り事例調査の見積り合計をヒストグラム（図表3）で示すと，クリエイティブ企業・印刷企業ともに，回答が各データ区間に分布しており，ばらつきの大い結果になりました。

なお，クリエイティブ企業は200万円以上230万円未満と230万円以上満の回答件数が多く，見積り合計の平均値は2,074,833円でした。一方，印刷企業は50万円以上80万円未満の回答件数が多

く，見積り合計の平均値は1,284,000円でした。

2023年のクリエイティブワーク見積り事例調査では，主たる料金項目として，「企画料」「進行・管理料」「ディレクション料」「デザイン料」「その他（任意記入欄）」を設けました。クリエイティブ企業と印刷企業の回答を比較すると，印刷企業の方が全般的に各項目の回答料金の水準が低い傾向にありますが，特に「進行・管理料」「ディレクション料」「その他（任意記入欄）」で差が目立つ結果となりました。



図表3 見積り事例調査の見積り合計 (ヒストグラム)

○進行・管理料

「進行・管理料」の一般的な概念・定義は、「顧客の意向を確認し、クリエイティブチームに伝達する（クリエイティブの実作業は行わない）。顧客折衝、見積り作成などの営業面で、プロジェクトを管理する」になります。

印刷企業へのヒアリングでは、「印刷物の見積りについて、営業面での管理業務を個別の料金項目とするケースが少ないので、進行・管理料の価格設定が難しい」との意見がありました。

取引上、営業に関わるコスト自体は最終的な見積り合計に含まれているはずなので、今後は、項目の定義を明確にした調査を実施していきたいと考えています。

○ディレクション料

「ディレクション料」の一般的な概念・定義は、「表現領域全体のコンセプトを考案し、クリエイティブ業務を監督する」になります。

クリエイティブ企業へのヒアリングでは、「表現領域のコンセプトを考案するディレクションは、デザインの指針となる重要な工程であるため、個別の料金項目を使用している」との意見がありました。一方、印刷企業へのヒアリングでは、「専門のディレクターとしての力量を持つ人材がないので、デザイナーがディレクション業務を兼務することが多い。このため、ディレクション料よりもデザイン料の項目をベースに見積りを作

成する」との意見がありました。

クリエイティブ企業と印刷企業でディレクターの有無や専門性、業務領域に違いがあると考えられ、それが回答料金の差につながっていると思われる。

今後は、ディレクションについて、条件を統一した調査および集計を実施していきたいと考えています。

○その他 (任意記入欄)

その他については、回答企業の提案内容により、さまざまな料金項目の記載がありましたが、クリエイティブ企業で料金が高い回答として動画制作の提案がありました。

クリエイティブワークは、「課題解決のためのコミュニケーション戦略活動」を指すため、提案の内容により見積り合計額が変動するという結果が出たといえます。

4. おわりに

本稿では、当会が2023年に実施したクリエイティブワーク見積り事例調査の結果を紹介しました。

前述したように、クリエイティブワークの見積りは、提案の内容により変化します。このため、まずは発注者が求める各種要件を整理し、その内容を「オリエンテーションシート」（業務仕様）に漏れなく記載し提示することが必要になります。

オリエンテーションシートは、クリエイティブワークを進める際に大事なポイントをプロジェクトに関わる全員で共有するための資料です。本誌のP16～17にオリエンテーションシートの例を掲載していますので、クリエイティブワークを発注・受注する際の参考としてご覧ください。

当会では、今後もクリエイティブワークに関する調査を実施し、クリエイティブワークの積算方法や料金に影響を与える要因などを整理したうえで、本誌にて発表していく予定です。